原名ドンバルトン

一長鯨丸　外車鐵製運送船　蒸氣二百五十馬力　長三拾九間五尺　巾五間五尺餘　○中略　噸數九百九拾六噸○中略

一龍翔　內車鐵製　蒸氣三十五馬力　長九十三フート　巾十五フート十五分ノ六○中略　噸數六十六トン○中略

外

小笠原大膳大夫所持船ヲ買上

一飛龍丸　蒸氣

以形狀爲名

〔倭名類聚抄十一船〕舶　唐韻云、舶、傍陌反、楊氏漢語抄云、都具能布禰、海中大船也、

〔類聚名義抄三舟〕舶　音白、ツクノフネ、今云オホフネ、

〔東雅九器用〕舶ツクノフネ　倭名鈔に唐韻を引て、舶は海中大船也、楊氏漢語抄に、ツクノフネといふと注せり、神功皇后紀にも、帆舶の字を讀てホツムといひけり、ツムといひ、ツクといふがごときは、其語轉せし所也とみゆれど、其義は不詳、ツクノフネとは、海中の大船とみへたり、ツクといひ、ツキといふ、相轉じていひし常の事也、御調物などいふも、また積載るをいひしもまたらず、

〔日本書紀二十四皇極〕元年八月己丑、百濟使參官等罷歸、仍賜大船、與同船三艘、同船、母盧紀舟、

〔日本紀略桓武〕延曆二十二年四月戊申、遣典藥頭藤原貞嗣、造宮大工物部建麻呂等、理遣唐舶幷破損雜物、

〔萬葉集三雜歌〕石上大夫歌一首

大船二、眞梶繁貫、大王之、御命恐、礒廻爲鴨、

〔新撰字鏡〕舟部　小舟浮於水能往來也、波志布禰、